

Vol.22 学生時代の友達についての意識調査

以前、kanko ホームルームVol.4でご紹介したとおり、友達は学校生活で得られるとても大切な存在です。学校卒業後も学生時代の友達との付き合いが続いている人も多いと思いますが、果たしてどれくらいの人が学生時代の友達と、付き合いを続けているのでしょうか？

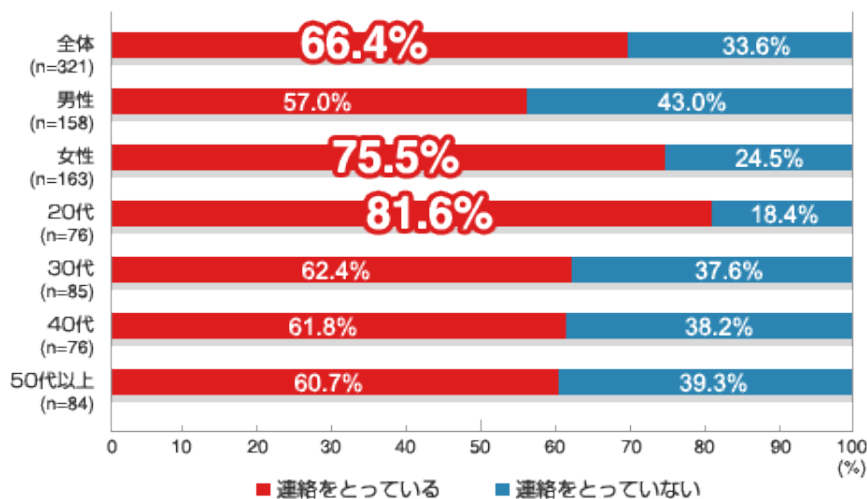
調査概要

調査対象：全国の20代以上の男女321人
 （男性158人、女性163人）
 調査方法：インターネットリサーチ
 実施時期：2007年9月



Q 学生時代の友達と連絡をとっていますか？

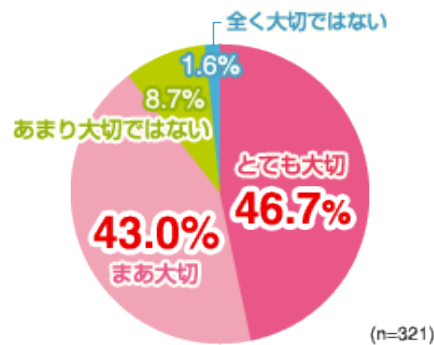
学生時代の友達と「連絡をとっている」と回答した人が全体で66.4%いました。男女別で見ると、男性は57.0%、女性は75.5%が「連絡をとっている」と回答しており、男性よりも女性のほうが「連絡をとっている」割合が高いことがわかります。また年齢が上がるにつれ、「連絡をとっている」という回答が少なくなっているものの、「50代以上」でも半数を超える人が「連絡をとっている」ということがわかりました。



【図1】学生時代（高校まで）の友達と今でも連絡を取っていますか？（単数回答）

Q 学生時代の友達は大切だと思いますか？

学生時代の友達は「とても大切」、「まあ大切」という回答が多く、両者を合わせると89.7%の人が学生時代の友達は大切だと感じています。



【図2】学生時代（高校まで）の友達は大切だと思いますか？（単数回答）

Q 学生時代の友達はあなたにとってどのような存在ですか？

学校を卒業してそれほど時間が経っていない「20代」の人たちの間では、学生時代の友達は「楽しい」存在であるという回答が最も多く「30代」、「40代」、「50代以上」の人たちの間では、「懐かしい」という回答が最も多かったです。

20代

- 1位 楽しい (59.2%)
- 2位 懐かしい (56.6%)
- 2位 昔話ができる (56.6%)
- 4位 遠慮がいらぬ (53.9%)
- 5位 安心できる (48.7%)

30代

- 1位 懐かしい (60.0%)
- 2位 昔話ができる (54.1%)
- 3位 楽しい (47.1%)
- 4位 安心できる (41.2%)
- 5位 遠慮がいらぬ (38.8%)

40代

- 1位 懐かしい (64.5%)
- 2位 昔話ができる (52.6%)
- 3位 遠慮がいらぬ (47.4%)
- 4位 安心できる (36.8%)
- 5位 楽しい (34.2%)

50代

- 1位 懐かしい (71.4%)
- 2位 昔話ができる (53.6%)
- 3位 気持ちが若返る (44.0%)
- 4位 遠慮がいらぬ (41.7%)
- 5位 安心できる (34.5%)

【表】学生時代(高校まで)の友達はあなたにとってどのような存在ですか？(複数回答)

まとめ

今回の調査から、学校卒業後も学生時代の友達と連絡をとっている人が多く、学生時代の友達のことを大切に感じている人が多いということがわかりました。

学生時代の苦楽をともにした学友は一生の宝となり、学友ならではの気兼ねのない付き合いが育まれています。

時が経つにつれて疎遠になってしまう人もいるかもしれませんが、学生時代にしか築けない友情の絆をずっと大切にしていきたいと思います。

毎月最終
火曜日
更新

kanko ホームルーム ～学生を読み解くデータ集～

kanko ホームルームは、学生を取り巻く環境や子どもたちの意識・ライフスタイルについて、多角的に調査・分析し、その結果をお届けしています。

ホームページでは、今回ご紹介した調査データ以外にも様々な情報を掲載しております。

<http://ozaki.jp/homeroom/>